

日本赤十字豊田看護大学大学院  
看護学研究科看護学専攻（修士課程）

令和9年度（2027年度）

# 学生募集要項

日本赤十字豊田看護大学大学院

# 目 次

[頁]

I	目的	1
II	アドミッション・ポリシー	1
III	コース・専門分野の概要	1
IV	研究指導担当教員の選択と事前面談	2
V	入学試験	3
1	募集人数	3
2	出願期間および入学試験日程・試験会場	3
3	入学試験種別選抜方法・試験時間	3
VI	出願手続き	4
1	出願手続き	4
2	出願資格	5
3	入学検定料	7
4	出願上の注意	7
5	その他	7
VII	入学試験当日の注意事項	8
1	入学試験について	8
2	不正行為の取り扱いについて	8
VIII	合格発表	9
IX	入学手続き	9
1	入学手続き期間	9
2	納付金	9
X	その他	12
1	個人情報の取り扱いについて	12
2	個人成績の開示	12

## I 目的

本大学院は、建学の精神である赤十字の理想とする人道的任務の達成を図るため、看護に関する学術の中心として、広く看護の実践と教育・研究に関する理論と専門技術を教授研究し、深い学識及び卓越した感性と人間性を備えた高度な看護専門職の育成を図り、看護学の発展とともに世界の人々の健康と福祉の向上と豊かな生活の創造に寄与することを目的とする。

## II アドミッション・ポリシー

看護学研究科看護学専攻（修士課程）では、次のような人を求めています。

1. 本学の建学の精神に共感できる人
2. 専門分野における基礎知識を有している人
3. 論文作成の基盤となる文章の読解力と論述力を有している人
4. 基礎的な看護実践能力を有している人
5. 将来的に看護研究者・実践者として貢献する意志のある人

## III コース・専門分野の概要

### 1. 研究・教育者コース

分野・領域での専門性を高め、研究者・教育者として看護学の発展に寄与できる能力の育成を目指すコースです。3 分野 9 領域を設定しています。

分野	領域
基盤育成看護学	看護管理学
	看護教育・技術学
ケア創生看護学	成人看護学
	母性看護学
	小児看護学
地域共生看護学	老年・在宅看護学
	精神看護学
	地域看護学
	災害看護学

### 2. 専門看護師（Certified Nurse Specialist : CNS）コース

日本看護系大学協議会の認可を受けた高度実践看護師教育課程であり、専門看護師を目指すコースです。ケア創生看護学分野の小児看護学領域、地域共生看護学分野の精神看護学領域、老年・在宅看護学領域に設定しています。各領域の講義・演習・実習科目により卓越した実践能力を育成し、「課題研究」で看護実践上の課題を解決するための研究能力を育成します。本コース修了後、専門看護師認定審査に合格することで、専門看護師の資格を得ることができます。また、令和 9 年（2027 年）4 月より、新たに成人看護学領域に慢性疾患看護専門看護師コースを開設する予定で申請中です。

### 3. 認定看護管理者コース

卓越した見識と管理能力をもった認定看護管理者を目指すコースです。基盤育成看護学分野の看護管理学領域に設定しています。講義・演習・実習科目により卓越した管理能力を育成し、「課題研究」で看護管理上の課題を解決するための研究能力を育成します。看護師長以上の看護管理者経験が 3 年以上あれば、本コース修了後、認定看護管理者認定審査に合格することで「認定看護管理者」の資格を得ることができます。

## IV 研究指導担当教員の選択と事前面談

出願を希望する方は、あらかじめ志望する分野・領域の研究指導教員と面談し、入学後の履修、研究について相談を行ってください。

※本学にて説明会を6月・10月に開催（オンライン配信同時開催）しますので、ぜひご参加ください。

### 研究指導担当教員一覧

分野	領域	研究指導教員 連絡先 Tel E-mail	研究指導内容
基盤育成看護学	看護管理学	南谷 志野 0565-36-5111 s-nanya@rctoyota.ac.jp	ミクロ、マクロの視点から捉えた医療現場の課題や政策に関する課題の研究指導を行う。
	看護教育・技術学	山田 聡子 0565-41-6149 s-yamada@rctoyota.ac.jp	看護基礎教育および継続教育や人材育成に関する課題と、看護技術に関する課題の研究指導を行う。また、看護倫理に関する課題の研究指導も行う。
ケア創生看護学	成人看護学	カルデナス 暁東 0565-36-5111 x-cardenas@rctoyota.ac.jp	療養生活を営む慢性疾患をもつ人とその家族の健康ニーズと援助方法に関連する課題の研究指導を行う。また、健康状態が急激に変化した患者とその家族に対するケア開発やケアの意味の探求などに関する研究指導も行う。
	小児看護学	岡田 摩理 0565-36-5111 m-okada@rctoyota.ac.jp	主として質的研究の手法を用いて、心身に障がいをもつ子どもの看護や小児看護学教育における課題に関する研究指導を行う。
地域共生看護学	老年・在宅看護学	百瀬 由美子 0565-36-5111 y-momose@rctoyota.ac.jp	介護予防、認知症高齢者ケア、家族介護者支援、老年・在宅看護学領域における倫理的課題に関する研究指導を行う。
		小林 尚司 0565-41-6508 namimo@rctoyota.ac.jp	老年・在宅看護学領域における研究課題、特に生活および療養の場における看護に関する課題について、研究指導を行う。
	精神看護学	河野 由理 0565-36-5111 y-kawano@rctoyota.ac.jp	精神保健看護学領域に関する研究課題、特に学校、在宅、病院などの場における精神保健問題をもつ人とその家族への支援と多職種連携について研究指導を行う。
	地域看護学	長谷川 喜代美 0565-41-6006 k-hasegawa@rctoyota.ac.jp	地域看護学領域、特に行政分野の保健師の活動に関する課題について研究指導を行う。
		森田 一三 0565-36-5111 i-morita@rctoyota.ac.jp	地域看護学領域、特に行政機関、地域住民による地域保健活動に関する課題について研究指導を行う。また、口腔の健康と全身の健康の関連に関する課題についても研究指導を行う。
	災害看護学	藤井 愛海 0565-36-5111 m-fujii@rctoyota.ac.jp	災害看護学領域に関連する課題、特に災害が人々の健康や生活に及ぼす影響と看護支援に関する課題の研究指導を行う。

## V 入学試験

### 1. 募集人数

10 名

### 2. 出願期間および入学試験日程・試験会場

#### (1) 入学試験日程

	出願期間	試験日	合格発表日
第1回	令和8年 7月22日(水) ～8月7日(金) (締切日の消印有効)	9月12日(土)	9月18日(金)
第2回	令和9年 1月12日(火) ～1月26日(火) (締切日の消印有効)	2月13日(土)	2月19日(金)

#### (2) 試験会場

日本赤十字豊田看護大学

〒471-8565 愛知県豊田市白山町七曲12番33

TEL: 0565-36-5111 (代表)

### 3. 入学試験種別選抜方法・試験時間

#### (1) 一般入学試験

試験科目は、専門科目(小論文)および面接です。

試験科目	試験時間
専門科目(小論文)	10:30～12:00
面接	13:00～

#### (2) 学内進学

本学在学学生で出願条件を満たしている方が対象です。

「学内進学」の募集要項は別で配付します。

詳細については、入試・企画広報課までお問い合わせください。

## VI 出願手続き

### 1. 出願手続き

- ・事前に準備するものと「インターネットでの出願登録」「入学検定料の支払い」後に印刷するものがあります。
- ・詳細と出願方法は「インターネット出願ガイド」を確認してください。
- ・次の出願書類等を、封筒貼付用宛名シートを貼った角 2 封筒を用いて「簡易書留・速達」で郵送してください。(出願期間締切日の消印有効)
- ・窓口での受付は行いません。

出願書類等		摘 要
1	入学願書・写真票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット出願システムを利用して入力・カラー印刷(A4・横)してください。</li> <li>・顔写真のデータ(データ形式:jpg,HEIC,HEIF,PNG)が必要です。</li> <li>・提出した願書の入力内容は変更できません。</li> </ul>
2	履 歴 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学所定の用紙に記入してください。</li> <li>・履歴書欄が不足する場合は、所定の用紙で 2 枚目を追加してください。</li> </ul>
3	志 望 理 由 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学所定の用紙に記入してください(800 字以内)。</li> </ul>
4	証 明 書	(1) 大学の「卒業(修了)証明書(または卒業(修了)見込み証明書)」および「成績証明書」 (2) 【出願資格】の②による出願者(5 頁)は、次の証明書 ①既に学位授与機構により学位を授与された方は、「学位授与証明書」および学位授与の対象となった専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の「単位修得証明書」 ②既に学位授与機構に認定修了を申請している方は、「学位授与申請受理証明書」ならびに学位授与の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の「単位修得証明書」 ③10 月に学位授与機構に認定修了を申請している方は、学位授与の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行う機関の「単位修得証明書」 (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した方は、「修了証明書」および「成績証明書」 (4) 【出願資格】の⑦および⑧による出願者(5 頁)は、最終教育機関の「卒業(修了)証明書(または卒業(修了)見込み証明書)」および「成績証明書」 (5) 【出願資格】の⑩による出願者(5 頁)は、「出願資格認定書の写し」 ※ 各証明書は、発行者が厳封したものとしてください。

※ 受験票は入学検定料支払い後、インターネット出願システム(Post@net)の「出願内容を確認」からダウンロード可能となります。(詳細は、「インターネット出願ガイド」をご覧ください。)

カラー印刷し、試験当日必ず持参してください。

## 2. 出願資格

(1) 修士課程出願資格（次の各号のいずれかに該当する者）

- ① 大学を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- ⑩ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程（その修了者が学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定する当該課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- ⑪ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

※専門看護師（CNS）コースを希望する方は、本学大学院の出願資格①から⑪のいずれかに該当し、当該CNS分野において3年以上の実務経験を有することが要件です。

## (2) 出願資格認定審査

「出願資格基準」の⑩により出願を希望する方は、申請期間内に「出願資格認定申請」を行ってください。

本学大学院の個別の出願資格審査では、次のいずれかに該当することを要件として審査します。

- ・日本国の看護師免許を有し看護師として実務経験が 3 年以上ある者で、看護系短期大学（3 年課程又は 2 年課程）、看護専門学校（3 年課程）又は高等学校看護師養成課程専攻科を卒業した者
- ・日本国の保健師若しくは助産師の資格を有し実務経験が 3 年以上ある者、又は日本看護協会に認定看護師として登録されている者

### ① 申請書類

以下の本学所定の用紙に、必要事項を記入してください。

- ・「出願資格認定申請書」（本学所定の様式：ホームページからダウンロード）
- ・「取得した資格を証明する書類（最終学歴の卒業証書の写し、免許証の写しなど）」
- ・「在職証明書」（本学所定の様式：ホームページからダウンロード）

### ② 申請期間

第 1 回一般入学試験：令和 8 年 7 月 8 日（水）～7 月 22 日（水）

第 2 回一般入学試験：令和 8 年 12 月 22 日（火）～令和 9 年 1 月 12 日（火）

（締切り当日の消印有効）

### ③ 申請手続き

「簡易書留・速達」郵便で本学入試・企画広報課へ送付してください。

〒471-8565 愛知県豊田市白山町七曲 12 番 33

日本赤十字豊田看護大学 入試・企画広報課

※封筒下部に「大学院出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。

### ④ 審査方法

提出された書類により審査します。場合によっては面接を行うこともあります。

### ⑤ 審査の結果通知

審査の結果は、下記の日程までに書面で通知します。出願資格有りとして認定された方は、「出願手続き」（4 頁）により出願してください。

第 1 回一般入学試験：令和 8 年 7 月 28 日（火）

第 2 回一般入学試験：令和 9 年 1 月 20 日（水）

### 3. 入学検定料

(1) 入学検定料 30,000 円

(2) 支払方法

- ①必ず「インターネット出願ガイド」に沿って手続きをしてください。
- ②クレジットカード、コンビニエンスストアでの支払いが可能です。出願最終日の支払いは15時 までです。コンビニエンスストアにより取扱時間が異なりますので、ご注意ください。
- ③入学検定料お支払いの際には、別途振込手数料として1,200円が必要となります。
- ④入学検定料支払いの領収書は提出不要です。控えとして各自保管してください。

(3) 支払期間

第1回一般入学試験：令和8年7月22日（水）～8月7日（金）

第2回一般入学試験：令和9年1月12日（火）～1月26日（火）

※納入された入学検定料は、理由の如何にかかわらず返還できません。

### 4. 出願上の注意

- ・ 出願書類に不実の記載等があった場合は、入学許可の後でもこれを取り消します。
- ・ 提出された出願書類および入学検定料は、理由の如何にかかわらず返還できません。

### 5. その他

(1) 外国人出願者

外国人出願者は、以下の書類を併せて提出してください。

- ① 当該駐在外国公館、またはそれに準ずる機関の推薦書、ならびに在留資格を記入した外国人登録済証明書（市町村長が発行したもの）
- ② 日本国内に在住する日本人による出願者の身元証明書（保証人は日本国籍を有する経済的に独立している者で、入学後も引き続いて保証人となりうる者であること）

(2) 特別な配慮が必要な場合

受験上特別な配慮が必要となる場合は、出願に先立って事前に申し出てください。

## Ⅶ 入学試験当日の注意事項

### 1. 入学試験について

- ① 試験当日は、試験開始の 20 分前までに指定された教室に入室し、着席してください。
- ② 試験開始後 20 分以上の遅刻は認めません（ただし、本人の責めに帰さない事由の場合は除く）。
- ③ 受験票、筆記用具〔黒色の鉛筆またはシャープペンシル（いずれもHB又はB）、消しゴム〕、腕時計を必ず持参してください。
- ④ 食事は各自で用意してください。受験中は試験会場から外に出ることはできません。
- ⑤ 携帯電話の使用は、係員の指示に従ってください。

### 2. 不正行為の取り扱いについて

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
- ① 受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること。
  - ② カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の解答等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
  - ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
  - ④ 配付された問題冊子とその試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
  - ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
  - ⑥ 「始めてください。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
  - ⑦ 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。
  - ⑧ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
  - ⑨ 「試験を終了します。筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (2) 上記の（1）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、上記（1）と同様です。
- ① 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書等の書籍類を鞆等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
  - ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
  - ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
  - ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
  - ⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
  - ⑥ その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

## Ⅷ 合格発表

第 1 回一般入学試験：令和 8 年 9 月 18 日（金）15 時

第 2 回一般入学試験：令和 9 年 2 月 19 日（金）15 時

合格者には合格通知書および入学手続き書類を簡易書留・速達で郵送します（合格発表日に発送しますので、手元に届くのは翌日以降となります）。また、15 時以降にインターネット出願システム（Post@net）で合否結果が掲載されます。なお、合格発表に関する問い合わせには一切応じられません。

## Ⅸ 入学手続き

合格者は、合格通知書とともに送付する入学手続き書類に記された所定の手続きをとってください。所定の手続きが完了した者に、入学許可証を送付します。

### 1. 入学手続き期間

第 1 回一般入学試験：令和 8 年 9 月 21 日（月）～ 9 月 29 日（火）

第 2 回一般入学試験：令和 9 年 2 月 22 日（月）～ 3 月 4 日（木）

※ 入学手続き期間に入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

### 2. 納付金

納付金の納入は、本学所定の振込依頼書により、指定の銀行口座へ振り込んでください。

- (1) 入学金は、以下の期日までに納入してください。詳細は、合格通知書とともに送付する書類に明示します。なお、既納の入学金は、返還しません。

第 1 回一般入学試験：令和 8 年 9 月 29 日（火）

第 2 回一般入学試験：令和 9 年 3 月 4 日（木）

- (2) 入学金の減免について

- ① 日本赤十字豊田看護大学および日本赤十字愛知短期大学を卒業した者または見込みの者は、全額を免除します。
- ② 下記の入学者は半額を免除します。
  - a. 上記①以外の学校法人日本赤十字学園が設置する大学を卒業した者または卒業見込みの者
  - b. 上記①以外の学校法人日本赤十字学園が設置する短期大学を卒業した者または卒業見込みの者
  - c. 日本赤十字社看護師等養成施設等を卒業した者または卒業見込みの者
  - d. 学校法人日本赤十字学園または日本赤十字社の職員

- (3) 入学金を除く前期分納付金（前期授業料）は、令和 9 年 4 月 30 日（金）までに納入してください。詳細は、入学後に別途、案内があります。

1 年次納付金（※2 年次は入学金以外の金額）

種 類	前 期	後 期
入 学 金	320,000 円	—
授 業 料	340,000 円	340,000 円

※上記納付金の他、維持運営費（半期 100,000 円）、学生教育研究災害傷害保険、教科書代などが別途必要となります。

#### (4) 長期履修制度

長期履修学生は、入学金以外の納付金総額を2年制と同額とし、履修期間を3年間に延長します。

##### 1 年次納付金

納付金	前期	後期
入学金	320,000円	—
授業料	227,000円	227,000円

※上記納付金その他、維持運営費（半期70,000円）、学生教育研究災害傷害保険などが別途必要となります。

##### 2 年次以降の納付金額

納付金	前期	後期
授業料	226,500円	226,500円

※上記納付金その他、維持運営費（半期65,000円）、学生教育研究災害傷害保険などが別途必要となります。

#### (5) 特待生制度について

本学大学院では、日本赤十字社創立150周年記念事業として、特待生制度を設けております。特待生は以下に該当する受験生が対象となり、標準修業年限の範囲内で授業料が半額になります。令和9年4月入学者から令和11年4月入学者までが適用範囲になります。

- ① 本学を卒業した者
- ② 日本赤十字社の看護職員

##### 1 年次納付金（①の者で特待生制度を使用した場合）

種類	前期	後期
入学金	0円	—
授業料	170,000円	170,000円

##### 1 年次納付金（②の者で特待生制度を使用した場合）

種類	前期	後期
入学金	160,000円	—
授業料	170,000円	170,000円

※上記納付金その他、維持運営費（半期100,000円）、学生教育研究災害傷害保険、教科書代などが別途必要となります。

#### (6) 教育訓練給付制度について

本学大学院では「教育訓練給付制度厚生労働省指定講座」を実施しています。当該講座を受講した場合、受給資格を有する方がハローワークに申請することで、教育訓練経費の一部が支給されます。

- ① 専門実践教育訓練 最大で受講費用の80%（年間上限64万円）を支給
- ② 一般教育訓練 受講費用の20%（上限10万円）を支給

現在の指定講座は「教育訓練給付制度講座・検索 (<https://www.kyufu.mhlw.go.jp/kensaku/>)」よりご確認ください。

入学年に指定講座となっている場合に利用できます。対象となる講座は変更となる場合がありますので、詳しくは大学までお問合せください。  
また、ご自身の受給資格の有無については最寄りのハローワークにお尋ねください。

## X その他

### 1. 個人情報の取り扱いについて

提出された個人情報については、学校法人日本赤十字学園プライバシーポリシーに基づき、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願及び入学手続きにおいて提出された個人情報については、①入学試験（出願処理、試験実施）②合格発表③入学手続き等の業務④これらに付随する事項を行うために利用します。
- (2) 入学者の個人情報については、教育、学生支援に関する業務を行うために利用します。
- (3) 一部の業務を本学より委託を受けた業者（日本赤十字豊田看護大学生生活協同組合等）において行うことがあります。委託した業務を遂行するために必要と認められる個人情報に限り、提供します。

### 2. 個人成績の開示

受験者本人（開示申請者）の請求により、入学試験の個人成績を開示します。

- (1) 開示する個人成績の内容  
一般入学試験：専門科目（小論文）の得点および総合得点
- (2) 開示・申請期間  
令和9年4月5日（月）～4月23日（金）  
（受付時間 9時～17時 土・日曜日・祝祭日・臨時休業を除きます。）
- (3) 申請方法  
入学試験個人成績開示申請書（請求により本学より送付）、本学受験票（コピー不可）、返信用封筒（長3形：切手460円分貼付）を添付して、受付期間内に郵送または持参してください。
- (4) 問合せ先  
〒471-8565 愛知県豊田市白山町七曲 12 番 33  
日本赤十字豊田看護大学 入試・企画広報課  
TEL 0565-36-5111  
（受付時間 9時～17時 土・日曜日・祝祭日・臨時休業を除きます。）